

ゾーン③：第2調節池環境学習フィールド3等渡良瀬遊水地の小山市域範囲

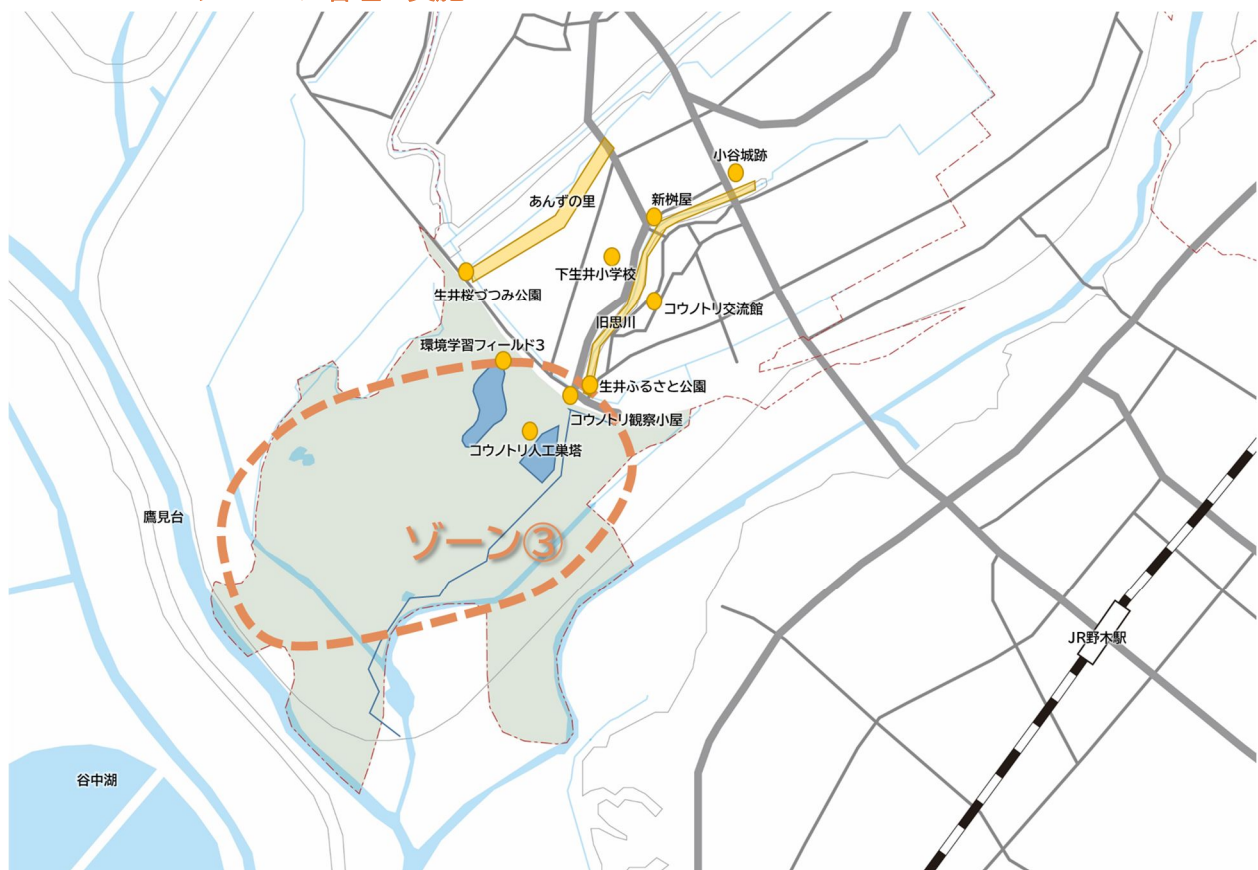
目指すべきこと

渡良瀬遊水地の広大なヨシ原を軸に形成される景観と豊かな生態系は、渡良瀬遊水地の大きな魅力の一つです。この湿地環境を適正に管理していくために、ヨシ原の保全に取り組むとともに、関係者と連携したゾーニングや、外来種対策、鳥獣害対策、湿地保全活動等を実施します。

また、遊水地を継続的に守り育てていくためには、より多くの個人や団体の関わりが必要です。遊水地や周辺地域の雄大な自然に触れることは、遊水地に興味をもって頂くために重要なことです。その体験から楽しさや学びを得て、より深く知り、保全につながるようなエコツーリズムや環境教育、普及啓発、交流を推進していきます。

施策一覧

- 11 ヨシ原保全、ヨシ焼き継承支援
- 12 ヨシ原の再生に関する調整
- 13 湿地保全活動の実施
- 14 イノシシやシカ等の鳥獣対策の実施
- 15 外来生物や樹林化の対策
- 16 コウノトリ・トキの個体保護
- 17 スポーツ・レクリエーション利用の推進(水辺遊び、サイクリング、ボート等)
- 18 主体的な保全活動の支援
- 19 渡良瀬遊水地内のアクセス向上
- 20 ゾーニング管理の実施



11 ヨシ原保全、ヨシ焼き継承支援

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	○	○	○	○

取組方針

渡良瀬遊水地では、低層湿原(ヨシ原)を保全し、ヨシに寄生している害虫の駆除、野火による周辺家屋への類焼防止のため、河川管理者、関係市町、地元住民等のあらゆる関係者との連携により、ヨシ焼きを継続的に実施してきました。渡良瀬遊水地周辺では、古くから地元住民がヨシ焼きの技術を継承してきましたが、高齢化等により将来的に担い手が不足することが予想されます。そのため、地元住民の方々と連携しながら、今後は担い手養成に関する検討や担い手確保に関する社会実験に取り組んでいきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	ヨシ焼きの継続実施のため、あらゆる関係者・関係機関で構成された「渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会」に参加し、安全に配慮しながら毎年着実にヨシ焼きを実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	地元住民と連携し、ヨシ焼きの技術継承や担い手確保について必要な措置を検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期	ヨシ焼きの技術継承や担い手確保の取組について、地元住民と連携して小規模な社会実験を実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
長期	技術継承や担い手確保の取組を事業化し、地元住民と連携しながら長期的に担い手を確保し、ヨシ焼きを継続的に実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



ヨシ焼き風景

出典：わたらせ自然ミュージアム

12 ヨシ原の再生に関する調整

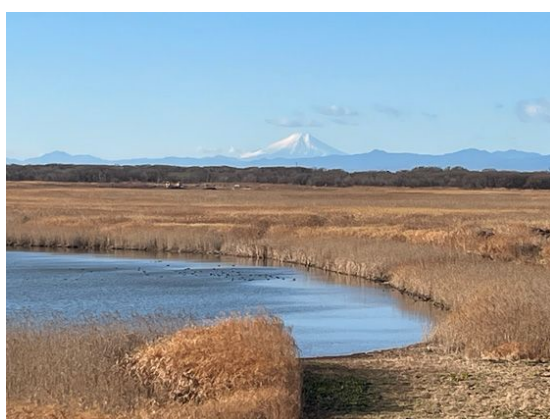
取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	◎	○	◎	○

取組方針

渡良瀬遊水地第2調節池では、2010年3月に策定(2018年11月に改訂)された「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」に則り、国土交通省の掘削事業による湿地再生が進められてきました。今後、渡良瀬遊水地の誇りである低層湿原(ヨシ原)を将来へ引き継ぐためには、湿地の乾燥化が大きな課題であるため、渡良瀬遊水地の重要な役割である治水機能の向上との調和を図りながら、ヨシ原への導水について関係者との調整、検討を行います。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～中期	ヨシが採取できなくなった場所について、国土交通省の掘削事業に対する要望等の調整を行い、掘削により地盤を下げ、ヨシ原の再生を行います。	治水対策課
短期～中期	ヨシが再生するまでの期間については、ヨシを採取できる代替地等について関係者間で調整を進めます。	治水対策課
中期～長期	与良川樋管から渡良瀬遊水地第2調節池の湿地への導水とともに、主要な池を水路で結び、水位の調整を実現できたことから、今後も国土交通省の掘削事業の進捗により生み出された湿地への導水を検討します。	治水対策課



ヨシ原(冬季)

出典:湿地のグリーンウェイブ HP



ヨシ原(春季)

出典:ラムサール条約登録湿地関係市町村会議 HP

13 湿地保全活動の実施

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦やおさかなワイワイ大作戦、渡良瀬遊水地クリーン作戦は、関係機関やボランティアと協力し継続して実施してきた湿地保全活動です。特にヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦は2014年から2023年までに約20,000人が参加している小山市の象徴的な自然環境保全活動です。事前申し込みや特別な準備品等なく気軽に参加することができる保全活動は、渡良瀬遊水地に触れるとても良い機会となり、そこから地域の学びや主体的な自然環境を守る取組につながることを期待されるため、今後も市民参加型のモデル事業として継続していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	環境学習フィールド3を渡良瀬遊水地の豊かな湿地生態系を学ぶことのできる場として持続的に管理するため、ボランティアを募集して「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」を継続的に実施する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	実施にあたっては、専門家と連携し希少生物の生息・生育状況に応じて実施区域や作業内容を検討しながら開催する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	渡良瀬遊水地第2調節池においてコウノトリやトキの餌生物を保全するため、池の状況より捕獲活動を実施し、外来生物の自然観察会を行う。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	関係機関の連携のもと渡良瀬遊水地全域で開催する「渡良瀬遊水地クリーン作戦」に協力し、参加者のゴミ拾いを支援するとともに自然環境保全、環境美化に対する啓発に努める。	環境課
短期～長期	開催時期については例年ヨシ焼き後としているが、不法投棄物等が燃焼することを防止するため、関係機関と調整を行い、ヨシ焼き前の実施を働きかけていく。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、環境課



外来種の除草作業

出典：利根川上流河川事務所



おさかなワイワイ観察会

14 イノシシやシカ等の鳥獣対策の実施

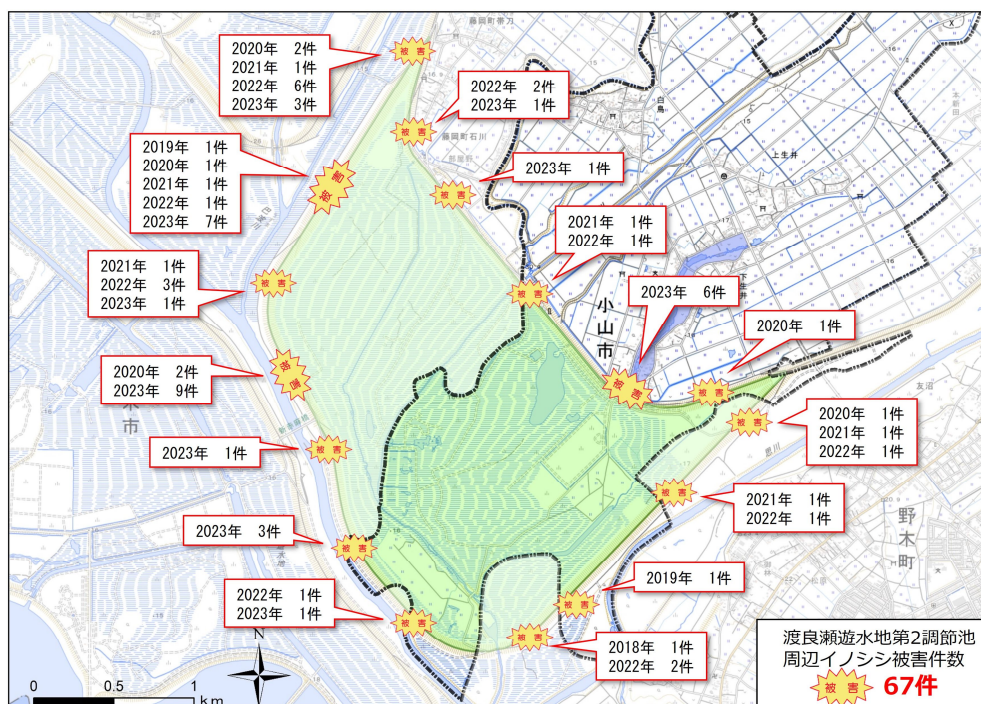
取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	○	○	◎	○

取組方針

「小山市鳥獣被害防止計画」「生物多様性おやま戦略」との整合性をはかりつつ、渡良瀬遊水地及び周辺地域を安心、安全な場所にするため、地元自治会、小山市鳥獣被害連絡協議会との協働による捕獲活動を継続的に実施し、イノシシやニホンジカ等の獣害対策を行なっていきます。被害対策協議会の新規設立、市民による捕獲活動の支援も想定しています。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	「鳥獣被害防止計画」に基づき、県や近隣市町と連携しながら、渡良瀬遊水地及び周辺地域における野生鳥獣の適正な管理を推進し、農林水産被害の軽減、人身被害の防止を図る。	農政課
短期～長期	侵入防止柵設置等の被害防除対策、藪の刈払いによる緩衝帯の整備のための乗用草刈り機の貸し出し等の生息環境管理及び捕獲対策を組み合わせ、地域の実情に応じた鳥獣被害対策を推進します。	農政課



渡良瀬遊水地第2調節池のイノシシ被害箇所

出典:国土交通省利根川上流河川事務所より

15 外来生物や樹林化の対策

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	◎	○	◎	○

取組方針

希少動植物が生息・生育する渡良瀬遊水地を将来にわたって保全するため、区域内の外来生物対策を徹底していきます。特に現在、遊水地内や周辺地域ではアライグマ、クビアカツヤカミキリ、セイタカアワダチソウやアレチウリ等の外来生物が確認され、地域の生態系や景観に大きな脅威を与えています。また、第2調節池の掘削事業における湿地再生エリアにおいては、ヤナギ等の樹木類が繁茂し、乾燥化等によるヨシ原の減少が懸念されます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	渡良瀬遊水地保全・利活用協議会制作「渡良瀬遊水地の主な外来生物」や市の定める「生物多様性おやま戦略」に基づき作成する対策ガイドラインに沿って、外来生物の防除や普及啓発に取り組みます。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	「生物多様性おやま戦略」に基づき、渡良瀬遊水地内の外来種駆除に関する市民参加型のイベントを実施するとともに、周辺地域において侵入した外来種の対策を実施します。	環境課ほか
短期～長期	第2調節池内の掘削地周辺に繁茂するヤナギ林について、河川管理者や周辺市町、関係団体等の連携のもと、対策を検討・実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、治水対策課

COLUMN

生物多様性おやま戦略

小山市は、令和5年度に「たくさんの生命(いのち)輝くまち おやま」を将来像として掲げ、「生物多様性おやま戦略」を新たに策定し、ネイチャーポジティブ等生物多様性上新しい理念を取り込みました。人を含め多種多様ないのちが輝ける、自然と人の暮らしや経済が調和した美しいまちを、あらゆる主体の連携・協働のもと、次世代へと継承することを目指し、「生きものや生息・生育空間とそのつながりの保全・再生」「自然と社会・経済の調和」「生物多様性への理解の醸成と保全活動や情報収集」3つの目標を定め、それぞれの基本方針と施策を定めました。

16 コウノトリ・トキの個体保護

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	○

取組方針

渡良瀬遊水地及び周辺地域の良好な湿地生態系のシンボルとして、コウノトリやトキの野生復帰を推進するため、東日本初のコウノトリ野外繁殖地であるアイデンティティを国内外に広く情報発信するとともに、住民や来訪者に向けて観察時のルールやマナー等の啓発活動に中長期的に取り組めます。

さらに、見守りボランティアや観察ガイドの養成などを通じて、コウノトリのみならずトキの飛来も見据え、採餌環境や営巣環境を守るとともに、来訪者にもコウノトリやトキが繁殖できる豊かな湿地環境の大切さを伝え、上質な観察体験を得られる環境づくりを推進します。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～中期	今後、コウノトリの個体数増加に伴い、負傷個体や死亡個体の発見数も増加が見込まれるため、個体の取扱いや救護に関する体制について関係機関との連携により方針を検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	ライブカメラや双眼鏡等の観察環境の整備・管理及び関連HP・資料の制作を行い、現地やインターネットを通じてコウノトリの生態や野生復帰の意義について普及啓発を行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	野生動物であるコウノトリやトキとの正しい付き合い方(観察マナー等)を啓発するため、見守りボランティアや観察ガイドの養成や研修を実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



渡良瀬遊水地で野外繁殖するコウノトリ

(撮影:写真家 堀内 洋助 氏)



飼育中のトキの親子

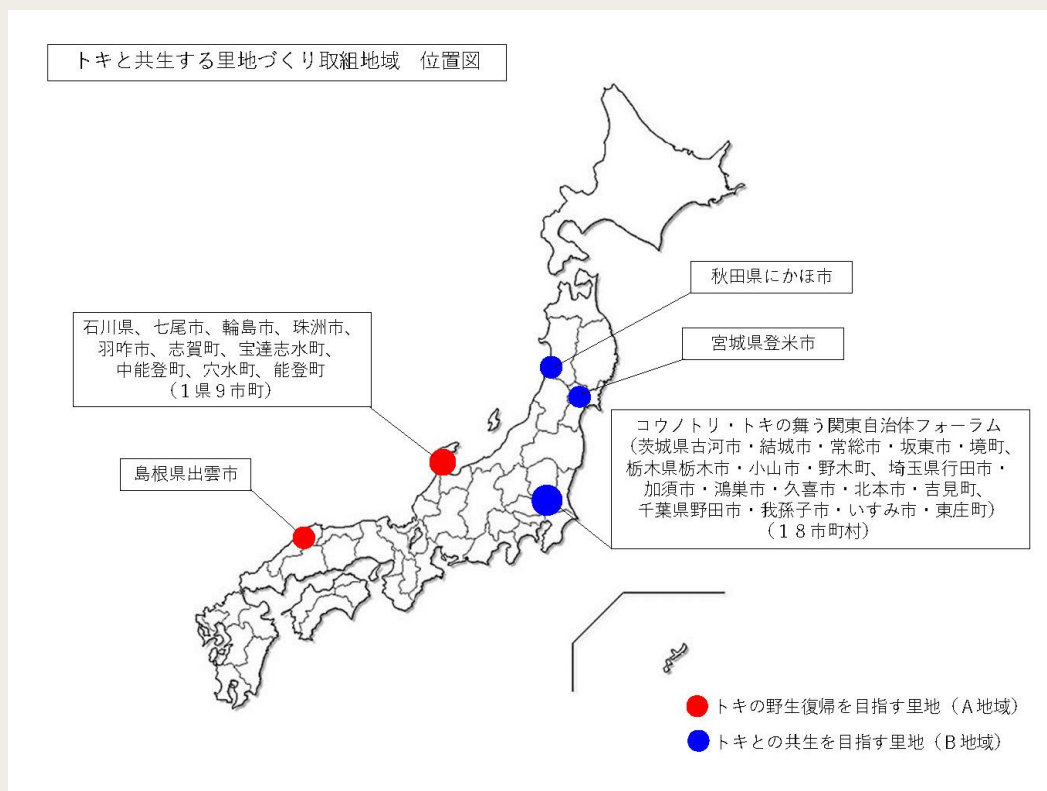
(提供:佐渡市)

COLUMN

トキと共生する里地づくり協議会

環境省は、「将来的なトキの野生復帰を目指し環境整備を進める地域(トキの野生復帰を目指す里地(A地域))」及び「放鳥は行わないものの、飛来したトキが生息できる環境整備を進める地域(トキとの共生を目指す里地(B地域))」の2種類の「トキと共生する里地づくり取組地域」の公募を行い、コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム(小山市を含む)がB地域として選定されました。

2022年11月28日に第1回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会が、2023年10月23日には第2回協議会が開催され、本州でのトキの定着に向けた意見交換が行われました。



出典:環境省 HP

17 スポーツ・レクリエーション利用の推進 (水辺遊び、サイクリング、ボート等)

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

渡良瀬遊水地や旧思川等の水辺空間は、自然と親しむ遊びや昔の遊び、ボート、ヨシ舟等の水辺の遊び、トレッキング、サイクリング等のスポーツを楽しむ場としても大きな魅力があります。

小山市は、そうした魅力を体験する機会を創出するとともに、来訪者が安全に楽しめるように利用マナーの周知を進めていきます。また、渡良瀬遊水地全体としては、サイクリングやスカイスports、カヌーやヨットのほか、BBQ等のあらゆるレクリエーションを楽しむことができるため、広域的な官民連携を進め、より多くの来訪者がより魅力を体験する機会の創出を目指します。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～中期	関係者と連携しながら、渡良瀬遊水地及びその周辺スポットにおけるサイクリングやボート、水辺遊び等の様々な楽しみ方を整理し、コウノトリ交流館を中心に紹介する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～中期	各アクティビティについて安全に楽しむことができるよう、ルールやマナーについても併せて整理するとともに、各スポットにおけるサイン整備の検討にも活かす。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、治水対策課、公園緑地課、生涯スポーツ課
中期～長期	小山市以外の渡良瀬遊水地の各エリアにおいても、サイクリングやボート、その他スカイスports等の様々なアクティビティが体験できるため、周辺市町や関係団体との連携による提案型の体験プログラムの設定・PR等を検討する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、治水対策課、公園緑地課、生涯スポーツ課



渡良瀬遊水地フォトコンテスト 2022 特別賞
「空をかける」
(撮影:山口民憲氏)



生井桜づつみでサイクリング
出典:ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

18 主体的な保全活動の支援

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

渡良瀬遊水地の第2調節池の環境学習フィールド3で実施している「ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦」や「おさかなワイワイ大作戦」は、小山市の象徴的な湿地保全活動であり、多くの個人・企業・団体がボランティアとして参加しています。

将来的に、渡良瀬遊水地第2調節池を自然観察や体験活動に適したフィールドとするためには、沢山の方々により多様な保全活動を実施する必要があるため、今後は参加者の活動しやすい保全活動をニーズに応じて展開できるよう、専門家とのマッチング促進や表彰制度の改良等の支援を実施していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	専門家や既存のボランティア参加企業・団体等と連携し、より主体的に参加でき、効果的な湿地保全につながる活動の枠組みを検討、実践し、環境学習フィールド3及びその周辺エリアにおける保全活動モデルを構築します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	表彰や専門家のマッチング等、活動への参加意欲の増進につながる制度についても検討を行い、保全活動モデルと併行して試験的に実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	新たな保全活動と支援制度の枠組みを実施後、参加数や活動の実施状況に応じて定期的に制度の検討を行い、多様な参加者による多様な活動を展開します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



保全活動団体との意見交換会



保全活動団体表彰式

19 渡良瀬遊水地内のアクセス向上

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	○	○	○	○

取組方針

渡良瀬遊水地内部は、第2調節池(生井桜つつみ側)と第1調節池(谷中湖側)が新赤麻橋(通称:鷹見台)で繋がっており、東西を結ぶ主要な道路として機能しています。しかしながら、第2調節池から新赤麻橋に向かうためには、南側の第2排水門付近を経由する必要がある等の課題もあります。

既に第2調節池と新赤麻橋を直接つなぐ工事用道路があるため、今後、工事用道路の試験的な開放に関する調整や市道への認定の検討を進め、課題となっている東西アクセスの向上を進めていきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	第1調節池周辺で行われるイベントに合わせて、第2調節池周辺のイベントとの連係した企画を試験的に実施し、工事用道路の一時的に開放することで実証実験を行います。(グリーンスローモビリティを活用したイベント)	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
長期	グリーンスローモビリティを遊水地周辺市町の拠点施設に配置し、相互に乗り入れ、遊水地の魅力を堪能するツアーなどの開催を検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



20 ゾーニング管理の実施

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	◎	○	◎	○

取組方針

広大な渡良瀬遊水地の貴重な自然環境を将来に渡って保全するため、有識者機関(渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会)や保全団体との連携により長期的視点でのゾーニングを実施し、人の手を入れる場所や環境学習、自然体験の場となる場所を考えながら管理していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	専門家や関係団体と連携して自然観察ルートや保全活動エリアの設定のゾーニングを実施し、共通した認識のもとに保全や利活用の取組を推進します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	ゾーニング実施後については、関係者連携のもと、定期的に内容を検討し、自然環境の状況に応じてゾーニングの調整を行います。(順応的管理)	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画レイアウトイメージ図

(出典:【渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画改定版】、国土交通省利根川上流河川事務所、平成30年11月)

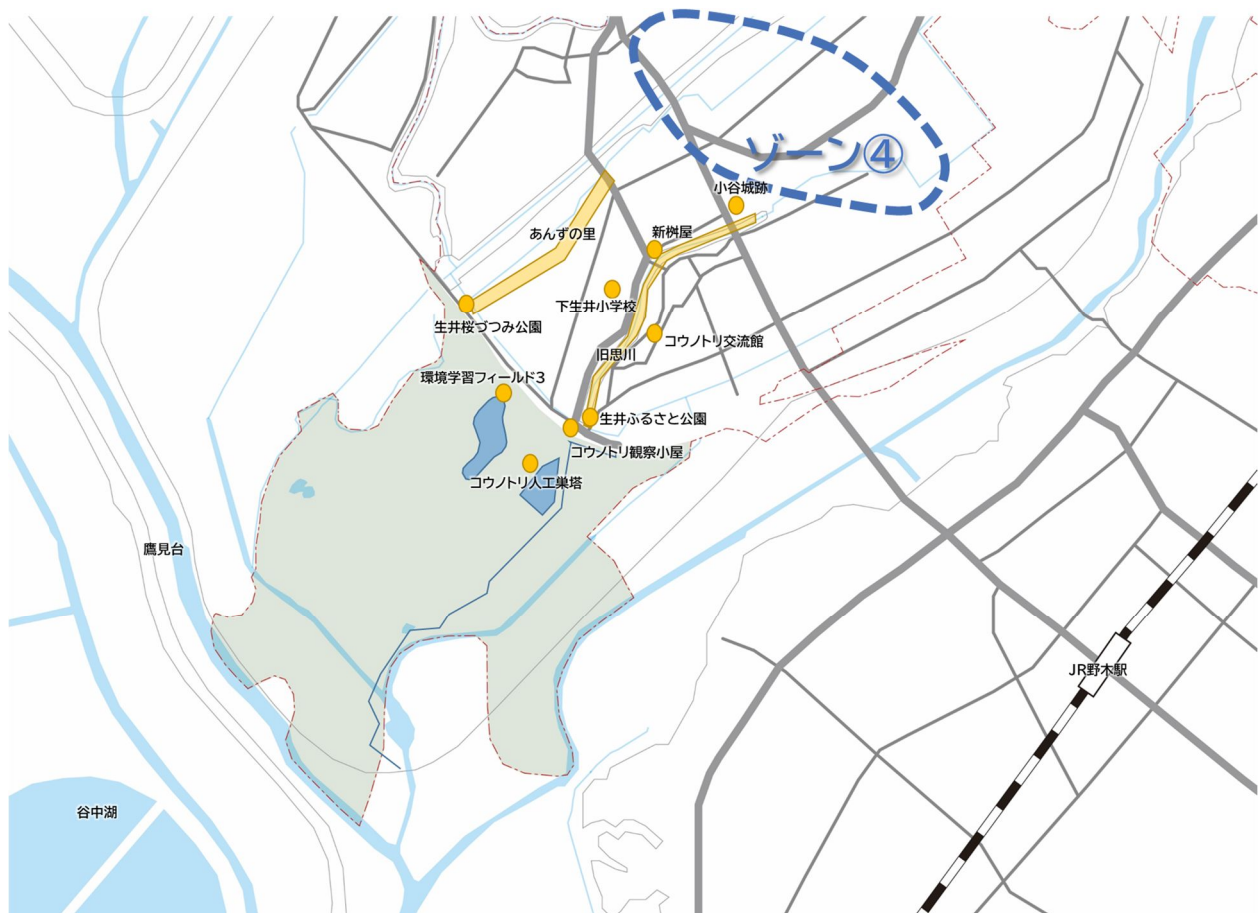
ゾーン④:生井地区、寒川地区の農地

目指すべきこと

渡良瀬遊水地周辺の小山市生井地区、寒川地区は、広大な田園風景を有しており、コウノトリの貴重な餌場となっています。有機農業推進の一環として、これまで「ふゆみずたんぼ」や「生井っ子」等の農薬や化学肥料を低減する稲作を実施してきました。その他、「なつみずたんぼ」という夏季の圃場に湛水する取組も行っています。今後も引き続き、環境にやさしい農業を支援し、コウノトリなどの生きものの生育環境に配慮した農業を実施していきます。

施策一覧

21 環境にやさしい農業の推進



21 環境にやさしい農業の推進

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	○	◎	◎	◎

取組方針

渡良瀬遊水地周辺地域では、これまで「ふゆみずたんぼ」や「生井っ子」等の農薬や化学肥料を低減する稲作を実施してきたほか、夏季の圃場に湛水する「なつみずたんぼ」等の取組を実施し、広大な田園環境はコウノトリや多くの水鳥が飛来する餌場としても機能してきました。

今後、「小山市農業振興計画」や「生物多様性おやま戦略」と整合性を図りながら、引き続き環境にやさしい農業を支援するとともに、農作物や加工商品の開発・販売促進を支援していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	環境にやさしい農法や生きものの生息に配慮した農作物を認証する制度や加工商品の開発などを検討し、販売促進に繋がります。	農政課, ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	渡良瀬遊水地やコウノトリ等の生きものをテーマとした加工商品の開発を支援する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	田んぼの生きもの調査を継続的に実施し、調査結果を小山市の環境にやさしい農業にて生産された農作物のPRに活かす。	農政課, 農村整備課



ふゆみずたんぼ



ふゆみずたんぼ米

出典:小山市 HP



なつみずたんぼに飛来したコウノトリ

出典:渡良瀬遊水地コウノトリ交流館
Instagram

COLUMN

生井っ子

生井地区において減農薬、減化学肥料で栽培されたブランド米です。

同地区の生産者約 20 戸の方々が、独自の施肥基準を設けて食味向上に取り組んでおり、粘りと甘味があり、冷めても美味しいと評判のお米です。



生井っ子刈り取りの様子

出典:JA おやま

水田ビオトープ

水田ビオトープは、コウノトリやトキの餌となる生きものの保全に資する水田を支援することを目的とした制度であり、農薬や化学肥料の低減のほか、畦畔への除草剤不使用や「江（え）」と呼ばれる中干し期間の生きものの退避先となる水路の設置など、生物多様性視点のメニューを設け、実験的なアプローチに取り組む施策です。

ゾーン⑤:周辺市町、関連する広域

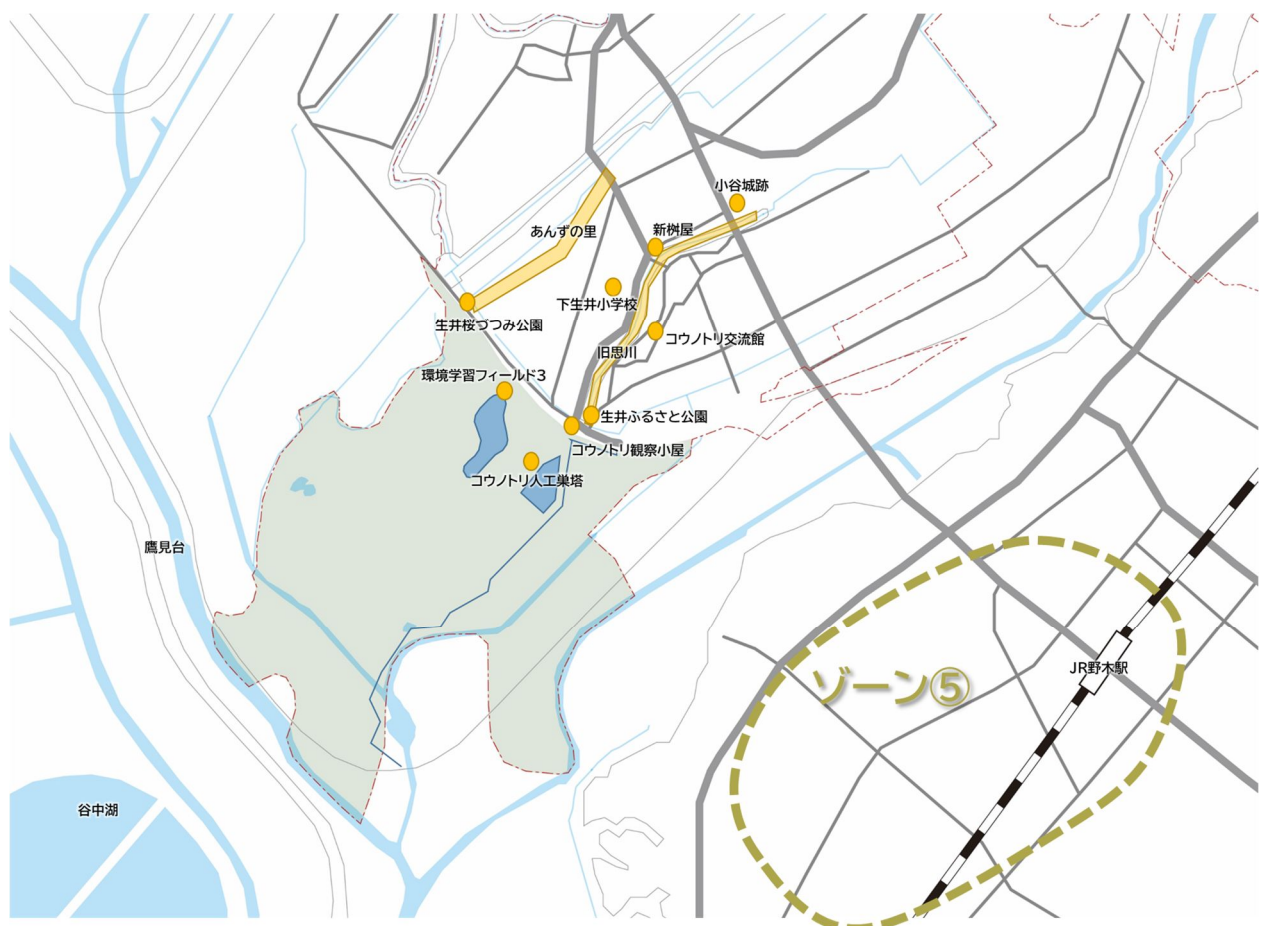
目指すべきこと

渡良瀬遊水地の広大なヨシ原を軸に形成される景観と豊かな生態系は、渡良瀬遊水地の大きな魅力の一つです。この湿地環境を適正に管理していくために、ヨシ原の保全に取り組むとともに、関係者と連携したゾーニングや、外来種対策、鳥獣対策、湿地保全活動等を実施します。

また、遊水地を継続的に守り育てていくためには、より多くの個人や団体の関わりが必要です。遊水地や周辺地域の雄大な自然に触れることは、遊水地に興味をもって頂くために重要なことです。その体験から楽しさや学びを得て、より深く知り、保全につながるようにエコツーリズムや環境教育、普及啓発、交流を推進していきます。

施策一覧

- 22 二次交通の整備(コミュニティバス)
- 23 周辺地域や関係者との連携、協力
- 24 ガイドの養成・生涯学習支援
- 25 関連サイトとの広域連携



22 渡良瀬遊水地への二次交通の整備（コミュニティバス）

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	○	○	◎

取組方針

渡良瀬遊水地第2調節池やコウノトリ交流館への最寄り鉄道駅はJR野木駅であり、駅付近にレンタサイクルが整備されていますが、小山市のコミュニティバスは停車せず、コミュニティバス利用の際の最寄り駅はJR間々田駅となっています。

今後、渡良瀬遊水地や周辺地域において開催するイベント時など、臨時的なアクセス手段について社会実験を行い、利用者のニーズを把握したうえでコミュニティバスの運行ルートを検討していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	コウノトリ交流館や渡良瀬遊水地周辺で開催するイベント等の際、JR野木駅等の主要交通機関をつなぐ臨時的なシャトルバスの運行等の社会実験に取り組み、利用者のニーズと実施効果を把握する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 都市計画課
短期	社会実験においては、隣接する自治体のイベントと開催日を合わせながら両会場をつなぐ等の広域連携も検討する。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	利用者のニーズをもとに、コミュニティバスの運行ルートの見直しを行う等、JR 野木駅からのアクセス向上を検討する。	都市計画課



出典:おーバス HP

23 周辺地域や関係者との連携、協力

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

渡良瀬遊水地は4県4市2町にまたがる広大な湿地であり、多様な関係者により様々な取組が展開されています。渡良瀬遊水地の抱える湿地環境や利活用に関する課題について、取組の実効性や効率性を高めるため、各種協議会や委員会の関係者と連携・協力して、各種施策に取り組んでいきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	下記の各種協議会に継続的に参加し、協議内容を各種取組に反映する。 ・ 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 ・ 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会 ・ 渡良瀬遊水地連携捕獲協議会 ・ 渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会 ・ 渡良瀬遊水地コウノトリ・トキ定着推進協議会	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 治水対策課, 農政課

24 ガイドの養成・生涯学習支援

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	○

取組方針

渡良瀬遊水地と遊水地に隣接する下生井地区の自然環境や歴史・文化などの魅力を市内外に発信し、体験や学びのきっかけとなる機会を創出します。専門的な知識に基づく質の高いガイド活動の展開を支援するため、生涯学習の一環として定期的にガイド養成講座を開催していきます。また、今後は高齢化等により担い手人材が不足することが見込まれるため、将来的に活動のリーダーとなり得る市内の学校向けのガイドの質や回数を向上したり、市内外のより多くの方々にガイドを利用いただけるよう検討していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会と連携しておやま市民大学「渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド養成講座」を定期的に開催し、渡良瀬遊水地及び周辺地域の魅力を伝える人材確保を支援する。	生涯学習課
短期～長期	関係団体と連携し、渡良瀬遊水地及びその周辺地域の自然・歴史・文化等の固有の魅力を共有する機会を設けるとともに、他のラムサール条約湿地等との連携による研修等を実施し、普及啓発に携わる人材の育成に取り組む。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



おやま市民大学 ガイド養成講座



市民大学・自然授業



市民大学・旧思川見学

25 関連サイトとの広域連携

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	○

取組方針

国内外を問わず、ラムサール条約登録湿地やコウノトリ・トキの野生復帰に取り組む地域の中には、湿地を貴重な地域資源として守り育て、魅力ある地域づくりに励んでいるところが多くあります。

お互いの地域の良さを学び合いながら地域づくりを進めていくため、そうした地域との連携をさらに深めていきます。

お互いの地域の良さを学び合いながら地域づくりを進めていくため、そうした地域との連携をさらに深めていきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	・ 下記の広域連携の枠組み等に参加、連携し、得られた知見や関係を各取組に活かす。 ・ 生物の多様性を育む農業国際会議(ICEBA) ・ コウノトリ・トキの舞う関東エコロジカルネットワーク協議 ・ トキと共生する里地づくりネットワーク協議会 ・ アジア湿地学校ネットワーク ・ その他新たな枠組等	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 農政課

International Conference for Enhancing the Biodiversity in Agriculture

新・生物多様性農業

「トキと共生する佐渡の里山」から始める

2023年11月18日(土) - 19日(日)
会場：あいぽーと佐渡（佐渡市津波384-11）ほか

参加費 無料
定員150名

生物の多様性を育む農薬国際会議（ICEBA）は、生物多様性を基盤とした地域循環型農業の確立と、国内外への普及を目標としているカンファレンスです。

参加しなくてもいい。定まらぬに配した農業、有機農産物、SDGsや脱炭素を踏まえた、これらの農業のかたちを考えます。

- 11月18日(土) 13:30 ~ 17:20
 - 13:30 ~ 開会式
 - 13:40 ~ 基談「歴代ICEBAを振り返る」(ウメネット・小山市役所・佐渡市長)
 - 14:10 ~ 講演「生物多様性保全・脱炭素に向けた農業」(東京大学 橋本 伸)
 - 15:00 ~ シンポジウム「健康な食料、健康な環境」
 - 15:50 ~ 事務報告表、サイトイベントからの提案
(JAF連発、バングラコリア本部、韓国、農業大、中国・塩城市、国内外地域子とも交流ムービー)
- 11月19日(日) 9:00 ~ 12:00
 - 9:00 ~ 分科会
 - 第1分科会 「生物の多様性を育む農薬のすすめ」(会場、トキ交差点側)
 - 第2分科会 「地域循環型農業（生物多様性と気候）」(会場、青森道側)
 - 第3分科会 「安全安心な農産物の产销」(会場 あいぽーと佐渡)
 - ※ 分科会内容は変更となる場合がございます
 - 11:30 ~ 分科会報告・閉会式

最後にトキと共生する里山散策ツアー

13:30 ~ 15:00 エクスカーション 「トキと共生する里山散策ツアー」

参加申込・イベント詳細はウェブサイトをご覧ください ↓

ウェブサイトから申し込むのほか、裏面「参加申込用紙」に必要な事項を記入し、以下申込先へFAX・送付、郵便したことも申し込みができます。

お問合せ・申込先：佐渡市 農林水産部 農業政策課
住所：952-1299 新潟県佐渡市平野2-52-52
電話：0259-63-5117（佐渡区外敷）030-17-301 FAX：0259-63-5127

主催：佐渡市
協賛：トキを守る会、トキラーズ日本支部、公益財団法人鳥獣被害防止支援センター、NPO法人日本鳥獣被害対策協議会
後援：佐賀県、佐賀県農林水産部、佐賀県自然環境課、南相模湾水産加工振興協議会

申込締切
10月31日(火)

ICEBA2023「歴代 ICEBA を振り返る」
(写真出典:佐渡市 HP)



コウノトリ未来国際会議(兵庫県豊岡市)
(写真出典:ラムサール・ネットワーク日本 HP)